

2025 年度 法政大学高等学校同窓会 総会のご案内

2025 年度の同窓会総会を下記の通り開催いたします。お忙しいこととは存じますが奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご参加を希望される方は同封のハガキで
6月13日（金）までにご返信くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 2025 年 7 月 5 日（土）
11:00～13:30（受付 10:30～）
2. 場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス内
富士見ゲート 3 階
カフェテリア「つどひ」
〒102-8160
東京都千代田区富士見 2-17-1
3. 会 費 6,000 円

以上



生涯続く母校との絆づくりに邁進！

同窓会会長 高村 嘉昭（高校 18 期／1966 年卒）

237 名が同窓会の会員に

同窓会会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年も 3 月 8 日に举行された卒業式を終えた 237 名の新会員第 77 期生が同窓会に入会いたしました。同窓会からは記念品として同窓会ロゴ入りの「ステンレスボトル・マグカフェ」をお贈りしました。

卒業式の前日には松浦校長先生、石川副校長先生にもご出席いただいて各クラスより選出された 12 名の同窓会クラス委員の方々に福地組織拡充委員長が中心となって同窓会活動について説明して今後の協力をお願いしました。

同窓会は卒業生が生涯に渡って母校とのつながりを意識させるコミュニティです。

会員には自由と進歩の校風と自主自律を育む教育理念のもとに学ばれた法政中学・商業高校（1936 年創立）、法政大学第一中学校・高等学校（1948 年開設）、そして法政大学中学高等学校（2007 年開校）を卒業して多種多様な分野で活躍している卒業生がいます。

鈴掛祭で活躍する卒業生をアピール

昨年の鈴掛祭に初めて「活躍する卒業生」と題する同窓会ブースを出させていただきました。当初の誰も来ないのではという冷やかな予想を覆して在校生をはじめ保護者の方や受験の下見を兼ねたご家族連れなど多くの方々が入り代わり立ち代わり訪れていただき、説明

が追い付かない時もありました。

業種、業態を問わずいろいろなジャンルで活躍している卒業生の存在を知る事は母校のステータスを高め、支援にもつながると思います。

今年も同窓会ブースでより多くの卒業生を紹介する予定です。こんな方が、あんな人がなど紹介したい方がいらっしゃいましたら自薦他薦を問わず是非お知らせください。

松浦校長先生がご退任！ 植月先生が新校長にご就任！

松浦校長先生が 3 月 31 日をもって退任されました。2021 年 4 月に就任されて以来取り組んでこられた生徒と教師と保護者の三者が対等の立場で課題に向きあう三者協議会は制服や食堂、スマホ利用など身近で大切な課題について議論して成果を導き出し、法政大学の第 6 回「自由を生き抜く実践知大賞」の「自立した市民賞」を受賞するなど生徒たちに自信と勇気を与えてくれました。

また共学校における同窓会の理念として「性差を超えた活動」とのアドバイスをいただくなど 4 年間のご功労に改めて感謝と御礼を申し上げます。

新校長には植月文隆先生が就任されました。保健体育の教鞭をとられ野球部の監督そして顧問として部員たちを指導もされてこられましたが、今後は同窓会名誉会長にご就任いただきますので、お力添えを賜りますようお願いいたします。

進取

法政大学高等学校 同窓会 会報

2025 年（令和 7 年）5 月 23 日（金）第 50 号

発行所 法政大学高等学校同窓会

〒181-0002 東京都三鷹市牟礼 4-3-1

Tel. 0422-79-6233 Fax. 0422-79-6262

<https://www.hoseikd.jp>

hoseimemory@ebony.plala.or.jp

発行人 高村嘉昭（同窓会会長）

編集人 大貫光伸（広報委員長）



同窓会憲章

法政大学高等学校同窓会は母校の伝統風土である「良き師、良き友、集い結べり」の精神を継承し、母校の校格向上を目的として一致協力して強力な支援体制を築きます。

さらに「母校の誇り、母校愛、母校への貢献」を共通理念として会員が一体となった活力ある組織を形成いたします。

同窓との交流促進、大学校友会にも参加

法政高校同窓会ではゴルフ大会を毎年 2 月に開催しておりますが、この他にも同窓生同士の交流支援を促進したいと思っています。加えて本校同窓会は法政大学校友会のパートナー組織ですので校友会のイベントにも参加し、その楽しさを感じていただければと思います。

盛り上がるのは三大イベントです。1 月に「オール法政新年を祝う会」、9 月に「オール法政ゴルフ大会『総長杯』」、そして 10 月に「法政大学全国卒業生の集い『福岡大会』」です。

さらに東京六大学野球の応援や卒業生が経営するお店での優待サービス、校友会終身会員向けの旅行やショッピングの割安プラン満載の法政大学クラブオフ、大学の施設利用など、参加しがいのある内容満載で、校友会のホームページを検索していただければと思います。

法政大学校友会の運営にも貢献

大学校友会には今年も副会長に岡本眞司同窓会副会長が、理事に高村嘉昭同窓会会長が、代表議員に大貫光伸副会長が役員として参画してオール法政の活動を推進するとともに付属高校同窓会同士の連携にも尽力しています。

さらに大学の卒業生理事には昨年に引き続き 33 期卒の長 裕章氏が就任し大学運営に力を注がれています。

同窓会は今後も母校の支援と会員の皆様の交流促進に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

生徒、保護者、教員三者で学び合い、歩む学校

法政大学中学高等学校 前校長 松浦麻紀子

自由な校風の中で培われた自治

1971年9月法政二高生徒会執行部は、制服自由化にあたって、会員に呼びかけました。問題が生じた場合自治によって解決していくというものです。「生徒と父母と教師のつながりを深め、意見交換によって服装問題のみならず教育や高校生活の改善などの面で理解を深めていく」と新聞に記載されました。三者で考える文化は50年の時空を超えて息づいています。

2022年度制服のジェンダーフリー化、頭髪規定の変更、自由を生き抜く実践知大賞の「自立した市民賞」を受賞、2024年度スマイルフォンのルール改定、ガイドライン策定。2025年2月第1回ジャンパー平等ワークショップを開き、Diana Khor理事、教授、学生、生

徒、保護者、教員でディスカッションを行い、疑問を持つことの価値を学びました。生徒は時代に沿ったルールに変え過ごしやすい学校にしたいと未来志向です。対話力、声をあげる人を一人にしない連帯、話し合いで決める民主主義。これが法政中高の学校文化です。

謙虚さと境界線の学び

今法政大学付属校はコンプライアンスも重視しています。私たち教職員は多種多様な業界で活躍の同窓会の方々から謙虚さを学ぶ必要があります。人は自分が正しいと思いがちです。AIによって自分好みの情報の中に入ります。卒業生との偶然的出会いが成長のヒントになります。2025年1月三者協議会、PTA新年懇親会において3名の卒業生の



トークに生徒、保護者、教職員は刺激を受けました。今後、若い世代、多様な性の人とのバウンダリー・境界線の学びあいによって同窓会はますます発展すると思います。

「老いを生き抜く十センチ」

この言葉は同窓会副会長岡本眞司様の名言で、私はステッカーを作りたいほど感激しました。十センチ程の階段に上りつづいて老いと闘いながら、法政を愛し法政に集うユーモアの精神は素晴らしいです。私もおかげ様で校長職の任期を終えました。今後は国語科教諭として生徒、保護者、教職員と共にハッピーな学校をめざします。

同窓会のみなさまへ 就任のご挨拶

法政大学中学高等学校 校長 植月文隆

春光うらかな季節、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本年4月より校長に就任致しました植月と申します。まず初めに、長年にわたる本校の発展にご尽力いただきました同窓会の皆さまに、心より感謝の意を表します。

私はこの度、校長としての重責を担うこととなり、大変光栄に感じておりますとともに、その責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。今まで築いてきた伝統と誇りをしっかりと受け継ぎつつ、未来に向けた新たなステップを踏み出していく所存でございます。

本校の卒業生である皆さまは、いずれも多方面で活躍され、母校の誇りであり、私たちの教育活動にとって重要な存在です。皆さまが築いて

こられた伝統を守りながら、さらに多くの後輩たちが胸を張って社会で活躍できるような教育環境を整えて参ります。

また、同窓会の皆さまと学校が連携し、互いに支え合いながら成長していくことが重要であると考えております。今後も、同窓会の皆さまとの交流を深め、母校の発展に寄与するために、共に力を合わせていきたいと考えております。皆さまのお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

私が初めて本校に着任した当時は、法政二中高として吉祥寺東町に校舎を構え、徒歩5分のところに土のグラウンドがありました。50周年記念で建てられた記念会館が道を挟んだ向かいにあり、その並びにテニスコートとプール。校舎の地下には食



堂、点在した教科の研修室、屋上にはネットが張り巡らされ、南側には南庭があり授業や部活動で使用されていたことを懐かしく思います。今年度は緑豊かなキャンパスで男女共学として19年目、創立90年目となります。日々の授業の充実、生徒が中心となり作り上げる行事、異学年が交流しながら取り組む部活動など生徒が主人公の学校であり続けます。

最後になりますが、皆さまにいつでも愛する母校と誇りに思ってもらえるように教職員一同邁進して参ります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2024年度 法政大学高等学校 卒業式

2025年3月8日(土)



卒業生 237 名

自主自立の精神で逞しく成長した卒業生237名(男子99名、女子138名)を送る卒業式が本校体育館において行われました。

松浦校長の式辞、法政大学からは本校を卒業された福岡賢昌法政大学グローバル教養学部学部長の祝辞、次いで卒業証書の授与、松尾PTA会長および高村同窓会長の祝辞、3年間の思いを込めた卒業生代表の答辞と続き、最後に校歌を斉唱して式典は滞りなく行われました。

同窓会員になられた卒業生の皆様のご活躍をお祈り致します。(総務委員会)

2025年度 法政大学高等学校 入学式

2025年4月5日(土)



新入生 238 名 祝辞：植月新校長

満開の桜が青空に映える中で希望に胸を膨らませた新入生238名(男子98名、女子140名)の入学式が本校体育館において行われました。

式は4月1日付けで校長に就任された植月新校長の式辞で始まり、法政大学からは尾花情報科学部学部長に祝辞をいただきました。続いて松尾PTA会長および生徒会会長の祝辞、新入生代表から「誓いの言葉」が、その後担任の教諭が紹介され、最後に校歌を斉唱して善く閉会となりました。

(総務委員会)

2024 年度 会計報告 (収支決算書 2024.4.1 ~ 2025.3.31)

財務委員会

収入の部 (単位: 円)				
費 目	項 目	2024年度予算	2024年度決算	備 考
繰越金		2,070,832	2,070,832	
会 費		3,910,000	3,897,000	
(イ)	入 会 金	1,652,000	1,659,000	新卒業生入会金 7,000円×237名
(ロ)	新入会員年会費	708,000	711,000	新卒業生年会費 3,000円×237名
(ハ)	年会費・寄付金	1,250,000	1,042,000	既卒業生会員年会費・寄付金
(ニ)	その他会費	300,000	485,000	総会・付属高同窓会役員懇親会会費
雑収入		50,000	113,538	総会お祝い金,校友会業務代行手数料,グッズ売上,預金利息
計		6,030,832	6,081,370	

支出の部 (単位: 円)				
費 目	項 目	2024年度予算	2024年度決算	備 考
経常費		1,050,000	1,091,347	
(イ)	学校協力費	300,000	303,823	学校行事、部活動支援金、卒業記念品 等
(ロ)	会 議 費	50,000	57,160	会議諸費用
(ハ)	組織活動費	100,000	117,241	広告協賛費 等
(ニ)	印 刷 費	10,000	9,350	封筒印刷代
(ホ)	通 信 費	20,000	43,306	メール便代、郵便代
(ヘ)	人 件 費	540,000	540,000	事務局員手当
(ト)	事務用品費	10,000	10,935	諸事務用品費
(チ)	雑 費	20,000	9,532	振込手数料、慶弔費 等
事業費		2,950,000	3,617,912	
(イ)	会報発行費	2,300,000	2,407,714	会報「進取」発行費
(ロ)	H P 費用	150,000	192,720	インターネット接続料、サポート保守、サイト運営管理費
(ハ)	総会等費用	300,000	817,478	総会・付属高同窓会役員懇親会費用
(ニ)	同窓会奨学金拠出金	200,000	200,000	法政大学LU募金へ同窓会奨学金拠出金として支出
計		4,000,000	4,709,259	
次年度繰越金		2,030,832	1,372,111	
合 計		6,030,832	6,081,370	

2025 年度 予算 (収支予算書 2025.4.1 ~ 2026.3.31)

財務委員会

収入の部 (単位: 円)				
費 目	項 目	2024年度実績	2025年度予算	備 考
繰越金		2,070,832	1,372,111	
会 費		3,897,000	3,750,000	
(イ)	入 会 金	1,659,000	1,505,000	新卒業生入会金 7,000円×215名
(ロ)	新入会員年会費	711,000	645,000	新卒業生年会費 3,000円×215名
(ハ)	年会費・寄付金	1,042,000	1,100,000	既卒業生会員年会費・寄付金
(ニ)	その他会費	485,000	500,000	総会費用
雑収入		113,538	100,000	総会お祝い金,校友会業務代行手数料,グッズ売上,預金利息
計		6,081,370	5,222,111	

支出の部 (単位: 円)				
費 目	項 目	2024年度実績	2025年度予算	備 考
経常費		1,091,347	1,060,000	
(イ)	学校協力費	303,823	300,000	学校行事、部活動支援金、卒業記念品 等
(ロ)	会 議 費	57,160	50,000	会議諸費用
(ハ)	組織活動費	117,241	100,000	広告協賛費 等
(ニ)	印 刷 費	9,350	10,000	封筒印刷代
(ホ)	通 信 費	43,306	40,000	メール便代、郵便代
(ヘ)	人 件 費	540,000	540,000	事務局員手当
(ト)	事務用品費	10,935	10,000	諸事務用品費
(チ)	雑 費	9,532	10,000	振込手数料、慶弔費 等
事業費		3,617,912	3,000,000	
(イ)	会報発行費	2,407,714	2,000,000	会報「進取」発行費(発送3,000~4,000部削減予定)
(ロ)	H P 費用	192,720	200,000	インターネット接続料、サポート保守、サイト運営管理費
(ハ)	総会費用	817,478	500,000	総会費用
(ニ)	同窓会奨学金拠出金	200,000	200,000	法政大学LU募金へ同窓会奨学金拠出金として支出
(ホ)	同窓会補助金	0	100,000	同窓会同期会補助金 (10組×10,000円)
計		4,709,259	4,060,000	
次年度繰越金		1,372,111	1,162,111	
合 計		6,081,370	5,222,111	

2024 年度 活動報告

- 役員会の実施
(4/2, 5/28, 7/4, 7/26, 10/2, 11/11, 1/18, 2/4)
- 高校入学式に出席 (4/6)
- 法政大学校友会理事会に出席
(6/29, 9/24, 1/25, 3/18)
- 校友会付属高校同窓会ブロック会議を開催
(10/5, 2/8)
- 同窓会報「進取」第 49 号を発刊 (5/10)
- 同窓会総会を開催 (7/6)
- ラグビー部 OB・OG 会主催のラグビー祭に出席
(7/21)
- 鈴掛祭 (中高文化祭) で初めて同窓会ブースを設置
(9/21, 9/22)
- 全国卒業生の集い「秋田大会」に出席 (10/26)
- 役員・クラブ委員合同新年顔合わせ会を開催
(1/18)
- PTA 新年懇親会に出席 (1/25)
- オール法政新年を祝う会に出席 (1/26)
- 第 10 回同窓会ゴルフ大会を開催 (2/20)
- 付属高校同窓会役員懇親会を幹事校として主催
(3/1)
- 新卒クラス委員説明会の実施 (3/7)
- 高校卒業式に出席 (3/8)

2025 年度 活動計画

- 役員会の定期開催
- 同窓会総会の開催 (7/5 予定)
- 同窓会報「進取」第 50 号の発刊
(5 月中を予定)
- 第 11 回同窓会ゴルフ大会の開催
(2026 年 2/19 予定)
- 会報「進取」およびホームページの在り方検討
- 校友会終身会員の増強
- 母校との協力体制の強化
- 法政大学校友会との協力体制の強化
- 付属校同窓会との協力体制の強化
- PTA との協力体制の強化
- クラス委員、クラブ委員との連携強化
- 女子部会設立の検討

監査報告書

2024 年度 (2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日)、同窓会収支決算書の会計監査を 2025 年 4 月 18 日に実施しました。会計監査の結果、業務の執行および決算書類、会計処理は適正に実施されており、収支決算書は適正であることを認めます。

2025 年 4 月 18 日

会計監査 大野 祐司

会計監査 金井 実

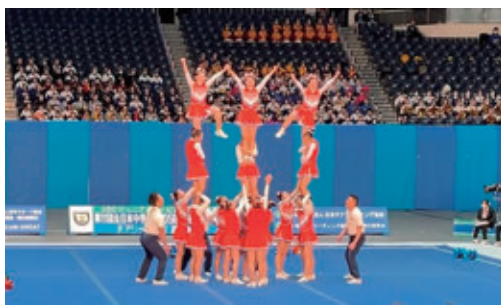


HOSEI
だより

クラブ活動紹介

法政大学高等学校には生徒会をはじめ文科系9クラブ、体育系17クラブが活動しています。今回は高校のホームページで紹介されている中から抜粋して同窓会の皆さんにご紹介しますので応援をよろしく願います。

チアリーディング部



私たち「HURRICANES」は「元気・勇気・笑顔」を合言葉にたくさんの方々に感動を届けられよう練習に試合に頑張っています。2025年1月25日と26日に国立代々木第一体育館で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ大会／第35回全日本高等学校チアリーディング選手権大会に参加しました。初日の予選では14位、二日目の決勝では23位という結果でした。三年が引退した後の新体制で臨んだ大会だけに苦勞もありましたがメンバー一人一人が技術面だけでなく精神面でも成長することができた大会でした。

男子
バスケットボール部

今年度も東京都ベスト32を目標に基礎を大切に、守り勝つスピード感のあるバスケットを目指して取り組んでいます。1月26日に行われた東京六大学付属高校四校交流大会に参加しました。この大会のルーツは、二十年以上前に開催していた東京六大学付属高校バスケットボール大会で、途絶えてしまっていた交流の場を、二年前に久しぶりに再開させた交流大会です。法政大学高等学校、立教池袋高等学校、明治大学付属明治高等学校、学校を会場となった早稲田大学高等学院の4校による交流戦は、ハーフゲームの総当たり戦で行いました。各試合とも接戦でしたが、結果は2勝1敗の準備優勝でした。部員たちにとっては貴重な体験で自信をつけることができた一日でした。バスケット部は、誰からも応援されるチームを目指して

ラグビー部からの
HOT NEWS

3年6組の佐々木陸さんが、この度、ラグビーの東都選抜チームで関東大会に出場し、その活躍が認められ関東選抜チームに選ばれました。8月に長野県菅平で行われる「JOBLICOカップ」に出場します。ラグビー界の裾野を広げようとする合同チームによる高校生の全国大会が、今年21回目を迎えます。



練習に励んでいきます。引き続き応援よろしく願います。

音楽部

単独でチームを編成することが出来ない部員不足の高校に所属する選手で構成された選手たちの大会を経験したとして未来の日本ラグビー界を支えています。今年も合同チームの日本一を目指して真夏の長野県菅平高原で熱い戦いが繰り広げられることでしょう。頑張れ佐々木陸選手!!

音楽部は夏の合宿で全バンドがオリジナル曲を作り、他校との合同ライブ等で切磋琢磨しあっています。2024年11月26日に行われた「令和六年度東京都高等学校文化祭軽音楽部門中央大会（第17回東京都高等学校対抗バンドフェスティバル）」において高校二年生（現高校三年生）バンド「Lindkerインデックス」が見事に準グランプリを受賞しました。

この大会は東京都高等学校軽音楽連盟加盟校からエントリーした75校を4ブロックに分けて行った予選を通過した24バンドによる決勝の中央大会を勝ち抜いたもので、ハイレベルな演奏が繰り広げられる中での準グランプリ受賞は賞賛に値するものでした。

また、この結果を受けて、都の高文連軽音楽専門部が推薦するグループに選出された「Lindker」は、2025年3月23日に久留米シティプラザ久留米座で行われた「第3回全国高等学校軽音楽発表会」に出場し、奨励賞を受賞しました！大賞は、全国から推薦された計36バンドで行われました。そしてみごと全国ベスト8相当の賞を受賞することができました。

今後他校との合同ライブ、大会への出場幅広い活動をしていきたいと思っ

ブラスバンド会



中高生80名余が協力して活動している伝統と歴史のある会です。2024年8月10日の第64回東京都高等学校吹奏楽コンクール「東日本組」に出演し金賞を受賞しました。さらに金賞上位12校による「第24回東日本中学校吹奏楽大会選考会」に推薦され8月16日の大会で優秀賞を獲得



ています。これからの音楽部の活躍にご期待ください。

高校陸上部



部員のほとんどが高校から陸上競技を始めた初心者で、ライバル校とは圧倒的な格差がありますが毎日のトレーニングで少しずつ成長し、東京都では例年16位以内に上がっています。2024年8月31日と9月1日に東京都高等学校新人陸上競技大会支部予選の女子2000mでは1年生の

得しました。さらに12月25日、26日にルネこだいらで開催された「第48回東京都高等学校アンサンブルコンテスト」では木管八重奏と金管八重奏がともに金賞を獲得、2025年1月18日の第58回東京都中学校アンサンブルコンテストでは管打七重奏が金賞を受賞しました。

2024年度の集大成はOBOGも交えて演奏する第58回定期演奏会でした。武蔵野市民文化会館で3月21日（金）に開催しましたが平日にも関わらず多くの方々にご来場いただき励みになりました。有り難うござい

豊富とは言えない練習
日程ですが、メリハリをつ
けて部員同士で励まし合
いながら活動しています。
第74回三鷹市民体育祭
スポーツ大会水泳競技が
2024年11月4日に三鷹
市のSUBARU総合ス



中高水泳部

吉岡選手が見事優勝、前日に行われた100mでも3位に入賞しました。その前に行われた第48回多摩地区大会でも3位に入賞。メンタル面での指導や課題であった後半のトップスピード維持を果たすなど成長の成果を見せてくれました。
一方、短距離も順調に成長した2年生が400mリレー走での本選出場を目指しました。結果は0.5秒届かず本選出場はならずでしたが大きな自信につなげる大会となりました。
2025年3月22日の多摩湖駅伝では男子が3位入賞、初心者ばかりですが今回の結果はキャプテンを中心としたチーム力を証明、見えないところで彼らがしてきた努力の証です。

生徒会

「自主自律」の精神のもと、委員会活動や行事運営を生徒主体で取り組んでいます。
そして学校生活をより良いものにしていくために生徒、教職員、保護者で対等に議論する三者協議会を実施しています。2023年の法政大学「自由を生きる抜く実践知大賞」で受賞した「自立した市民賞」は、

ボーイスカウトで開催され、中学高校水泳部10名にコーチとOBが出場しました。普段練習しているプールでもあり、部員の頑張りもあって多くのメダルと賞状を手に入れることができました。
中でも高校2年生の北嘉多選手は100mバタフライで大会新記録を樹立しました。今後の自信につながる結果となりました。
今大会は部員たちが慣れた会場で開催され、OBの参加も後押ししたこともあり、いい環境で大会に臨むことが成果につながったと思います。日頃から中高水泳部を支えていただいている方々に感謝申し上げます。

2024年度（2025年3月卒業） 新卒クラス委員紹介（高77期）

1組	岡田 航輝	成田 真百合
2組	深野 莉央	矢坂 翼
3組	大野 椿斗	諸橋 朋花
4組	大野 麗	高橋 泰晴
5組	内山 陸叶	小林 舞美
6組	伊東 香莉奈	金村 泰熹

（クラス別 50音順掲載）



こうした活動が評価されたものです。
多様性についても学びました。昨年8月には、法政大学D.E.Iセンターを訪問して丸山コーディネーターの「性の多様性」の講義を受け、2月にはダイアナ・コー理事（現総長）のジンダール等を通じての講義や意見交換を通して知識を深めることができました。今後の生徒会活動に反映していきたいと思っています。
生徒会の活動は多岐にわたっていますが、在校生が有意義な学校生活を送れるよう、参加して良かった活動を目指しています。

第10回「法政大学高等学校 同窓会ゴルフ大会」を開催



澄み切った空の遥か彼方へ飛び去る白球。とても如月とは思われぬ暖かな日差しの下、2025年2月20日。千葉県市原市のキングフィールズゴルフクラブにて第10回法政大学高等学校同窓会ゴルフ大会が開催されました。
今回、参加者の顔ぶれも若返り、30〜47期が20名を占め、最年長の5期（89歳）の秋山さんから24期までの70歳オーバーの先輩方が参加されました。27名の同窓生にて和やかながらも壮絶な争いが繰りひろげられ、優勝は36期奥野さん。準優勝は37期小宮山さんがベストグロスと共に獲得。ディフティングチャンピオンの36期岩本さんは、実力

を発揮できずブービーに甘んじました。
様々な賞の表彰後、最後は高村同窓会会長（18期／法政大学応援団第44期団長）のリードにより、全員で校歌斉唱。次回大会での再会を約束して散会いたしました。
次回開催は、2026年2月19日（木）キングフィールズゴルフクラブにて開催を予定しております。
参加をご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。お申込みをいただいた方には改めてご案内状をお送りいたします。



方には改めてご案内致します。
どうぞ、皆様お誘いあわせの上、参加くださいますようお願い申し上げます。
（組織拡充委員会）

第11回「同窓会ゴルフ大会」 開催のお知らせ

【開催日】2026年2月19日（木）

【場所】キングフィールズゴルフクラブ
千葉県市原市新巻 377

【会費】

参加費 3,000円

プレー費 13,000円

（キャディー・昼食費付）

（70歳以上の方はゴルフ場利用税が免除されます）

【申込先】

法政大学高等学校同窓会事務局

TEL 0422-79-6233



E-mail

hoseimemory@

ebony.plala.or.jp

ゴルフ大会の案内状をご希望の方は同封のはがきの「□第11回ゴルフ大会の案内状を希望します」の□欄に✓印をご記入の上ご返送ください。

お申し込みをいただいた方には改めてご案内状をお送りいたします。

62年後の音楽ライブ

法政一中時代に憧れた先輩たちとの共演

「トップギヤラン&田中清司」のライブが、2025年1月18日に神泉のライブハウス・ランタンで行われました。今も現

役で活躍中の小原重彦さん・山縣信さん（15期）、佐藤真栄さん（16期）、原田正美さん（17期）、田中清司さん（18期）の



ランタンでのライブの様子

皆さんです。

きっかけは田中清司さんの記事がドラム専門誌に掲載されたことでした。田中さんが法政一中の3年生の時に、3年先輩の皆さんが文化祭の前にバンド練習中のドラムを叩いている姿に憧れて、ドラムを始めたとの記事がありました。この記事をご覧になったトップギヤランのリーダー小原重彦さんから田中さんに連絡が入り、今回のライブに繋がりました。

当時、ドラムを叩いていたのは高校3年生の青木利男さん（15期）で、法政大学を卒業後はバンド活動を諦め、航空業界に進みJALの機長になった方でした。天皇陛下がご搭乗の際にも操縦桿を握った経験もあるそうです。残念ながら青木さんは10年前に亡くなっていましたが、今回は青木さんの代わりに田中清司さんがメンバーに加わりました。田中さんは青木さんにドラムの手ほどきを受けた後、法政一高の大先輩のジャック・高川&ブルームエツの吉川さん（9期・本名板岡公一さん）に師事し腕を磨いたそうです。ライブではオリコン1位で170万枚の大ヒット楽曲『青春時代』をはじめ15曲を披露し、又、田中清司さんの同期のせんだみつおさん、大学の剛柔流空手で菅元首相の先輩にあたる斎藤鎮さんも加わり、トークと歌で盛り上げました。締めは天国まで届けと、田中清司さ

んの気持のこもった力強い5分間のドラムソロでライブの幕を下ろしました。皆さんとても素晴らしい歌と演奏でした。後日談ですが、青木さんの娘さんがこのライブの話聞き、とても感動をされたそうです。青木さんは機長を勇退後、再度ドラムセットを買い揃え挑戦してみたところ、長い間操縦桿を握った手には馴染まなかったようです。

【注】

トップギヤランは「森田公一」とトップギヤラン」で有名ですが、ヨドバシカメラの「丸い地球の山手線」、笑点の「青雲」、明治ブルガリアヨーグルト、東京メガン、パンシロなどでパンパン等々100曲以上のCMソングを歌っており（18期）川島浩二

田中清司さん

1948年1月1日東京に生まれ、中学（法政一中）時代は当時の誰もがそうであったように巨人軍の長嶋選手に憧れた野球少年であった。中学3年の東京都大会では第3位になり、4番を打つ実力もあったが、1年先輩の田淵幸一さん（元阪神タイガース）のバツティン練習を観て「これはダメだ」と思いドラムに専念をした。高校1年（法政一高）の時に初代ジャニーズのバックパ

ンド、ジャニーズジュニアでキャリアをスタートした。その後、ジュニアボーイズやグリーングラスを経て、稲垣次郎とソルティメディアに加入。間もなく、山本リンダのうにもとまらない等でスタジオミュージシャンとしての活動を開始する。70、90年代に掛け、吉田拓郎・井上陽水・矢沢永吉・長瀬剛・南こうせつ等のロック、ニューミュージックや、キャンディーズ・山口百恵などのアイドル、北島三郎・細川たかし・千昌夫などの演歌、さらに、名探偵コナンなどのアニメソング等々、歴史的な名盤と言われるレコーディングに多数参加し作品も多数に上る。70年代に活躍した井上堯之バンド、80年代に活躍した大野克夫バンドでは数々の劇伴（BGM・サウンドトラック）



日本を代表するドラマー
田中清司さん

にも参加し、傷だらけの天使、悪魔のようなあいつなど、テレビ史に残る楽曲でも田中清司サウンドを聴ける。一方で、南こうせつ・野口五郎・長瀬剛・渡辺真知子・萩原健一・石川さゆり・渡哲也などなどのツアーでも田中清司を長年手放さないアーティストも多数いた。ロックを中心に、歌謡曲、演歌等々ジャンルの問わず膨大な数のライブやレコーディングに参加し、日本のポップ界のあらゆるシーンを支えてきたのが田中清司である。

田中清司さんのプロフィールについては2024年11月発売のドラム専門誌「日本のスタジオ・シーン」に創造したドラマー達に冒頭35ページに渡り掲載されています。

活躍する卒業生



梶 謙治さん



新宿区・市ヶ谷駅より徒歩5分ほどの靖国通りに面した場所にある市谷亀岡八幡宮に伺いました。靖国通りは車の往来で賑やかな場所ですが、都心の喧騒から少し離れた静かな高台にあります。石

階段を昇り、鳥居をくぐると、その先には静けさと清らかなさを感じさせて本殿が静かに佇んでいる。木々の緑が豊かで、都会の雑踏を忘れさせてくれるような落ち着いた空間が広がっており、ここだけは時間が止まったかのような、穏やかな空気が流れています。時折、風に揺れる木の葉の音が響き、参拝客の心を穏やかにしてくれ、都会の喧騒の中でもここだけは別世界のような安らぎを与えてくれる場所です。

今回ご紹介をさせていただくのは市谷亀岡八幡宮 18代目宮司・梶謙治さん（高校36期）です。

法政一中・法政一高・法政大学という法政一筋であり、大学卒業後は一般の企業に就職をしたのですが、

先代の亡父より跡を継いで欲しいとの話があり、神職資格の取得をするために退職をしたそうです。

退職後は4年制大学を卒業した神職子女が、神職資格取得を目指して指導神職を養成する課程のある國學院大學に選抜試験を経て入学されたとのこと。

通常は大学4年間で学び取得する単位を1年間で終わらせるという、かなり厳しいスケジュールだったとこのことで、この大
学での1年間の勉強は梶さんの人生の中で一番勉強をしたといえるうちのつだったそうです。

当時は明治神宮・伊勢神宮・京都の石清水八幡宮等で財布や時計等の身の回り品を全て預けての宿泊研修・実習があったそうです。この心理的圧迫感がある中で体調不良になった学生さんもあったとのこと、その数年後の研修実習はだいぶ緩やかになったそうです。

その後、梶さんは宮司に就かれたとのこと。法政一中高、また大学在学中から神社の後を継ぐその当時迄、先代から続く

神社の存続にも関わる問題など抱えており、かなり大変な時期もあったとことです。「そういう意味では近所の神主さんの中では一番裁判経験が豊富なのかも判れない（笑）」と言っておられました。

いろいろな問題が解決して落ち着いたのは45歳位のことだったとのことでした。

現在は一緒に社務を行っていた梶さんのお兄さんに加え、去年の4月から梶さんの息子さん(が神職として奉職、研修期間中ではあります)が3人で運営しており、週休2日での体制を維持しているそうです。

梶さんのある一日のスケジュールです。

午前4時30分～6時 朝のお勤め

午前7時～ メールチェック等

午前9時～ 社務所
ご祈祷や安全祈願等

午後から 参詣者対応
夕方の拝礼 各種相談
事や打ち合わせ メールチェック等

18時30分位まで

市谷亀岡八幡宮は氏子地域が新宿区の8分の1

程と広いので梶さんは町内会を通してのコミニケーション等をとりながら氏子地域、それ以外の地域や神域・崇敬者との関係を広げて地域の活性化等に寄与していくことを大きな柱として心がけているとのこと。

流動化により町内会の活動は停滞しているところも多いのが現状でもあり、現在の宗教法人の運営の難しさもお話をされていました。

梶さんの見識の深さ、話を聴く姿勢であつたり、話し方に人柄の良さがとてめ伝わつて来ました。梶さんは神職、HP、Facebookだつたりと活動の場を広げておられます。

機会がありましたら市谷亀岡八幡宮に皆様も足を運んでみてください。

また梶さんは今年10月開催予定の「還暦祝法政高36期同窓会」の幹生役の一人でもあり、36期生の参加を募集しております。参加希望の問い合わせは同窓会事務局までいただければと思います。

（高37期 萩原光博）

第37回 法政大学付属高校同窓会役員懇親会



令和7年3月1日（土）
法政大学市ヶ谷キャンパス、カフエテリア「つどひ」にて第37回法政大学付属高校同窓会役員懇親会が法政大学高等学校同窓会が幹事校となり開催されました。

当日は寒さも緩み、春を感じさせる陽気の中、法政大学から和仁達郎常務理事（法政大学国際高等学校校長）をはじめ、校友会の来賓の皆様他、48名が出席し終始和やかな懇親会となりました。

高村嘉昭法政大学高等学校同窓会会長の開会あいさつに始まり、中村寿美子法政大学校友会副会

長のご祝辞を頂戴した後、細田泰博法政大学学生支援統括部長の記念講演、松浦麻紀子法政大学中学高等學校校長（当時）ご発声による乾杯でスタート。各同窓会からの近況報告や役員紹介などが行われ大いに親交を深めることができました。最後は迫力ある法政大学応援団演舞、全員が肩を組んでの校歌斉唱で締めくくり、強い絆が感じられる有意義な時間となりました。次回は法政大学第二高等学校同窓会が幹事校となることが紹介されフラッグの継承が行われました。（広報副委員長 佐藤博之）

お振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 (9900)

店名：019 店 (ゼロイチキウ店)
(支店番号 019)

預金種目：当座預金

口座番号：0076931

口座名義：法政大学高等学校同窓会

同窓会 年会費 (三千円)
および 寄付金納入のお願い

同総会費の収入は厳しい状況にあります。収支バランスには気を付けていますが、財務状況はなかなか良くなりません。繰越金が年々減少しています。

収入元は同窓会年会費と新卒業生の入会金だけです。今年度は会費納入に係るなく、同窓会会報は同窓生に(二万二千部程)を発送致しました。

会員各位には、この状況をご理解いただき、今年度も同窓会年会費(三千円)のお振込みおよび寄付金のご協力をお願い申し上げます。

振込用紙は会報に同封いたしました。

同窓会振替口座に他金融機関からお振込をいただく場合の店舗番号は左記のとおりです。

(財務委員長 吉岡 郁典)

「同窓会奨学金制度」

同窓会奨学金は高校在学中に経済的援助が必要になった生徒さんを支援することを目的に2022年度にスタートしました。

2022年度は2名の生徒さんへ、2023年度・2024年度は1名の生徒さんへ支給させていただきました。

生徒さんからは感謝の気持ちのこもったご丁寧なお礼状が届きました。

奨学金は皆さまからのご寄付を原資として毎年20万円をリーディングユニバーシティー法政募金の「法政大学高等学校同窓会奨学金」へ拠出しています。

この制度の持続のために引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。

楽しい時を創る

——同窓会では新スタッフを募集しています！

同窓会を楽しむために一緒に活動していただける方を募集しております。

- ・参加して良かった、楽しかったイベントと一緒に考えてみませんか？
- ・女性による女性を楽しめるイベントを考えたり実行したりしてみませんか？
- ・何もないけど時間はあるので一緒に楽しみたい方エントリーしてみませんか？

会員交流支援キャンペーン

同窓会員 15 名以上参加の交流会に
10,000円を支援します！

詳細は同窓会ホームページをご覧ください。
<https://www.hoseikd.jp/campaign>

▼こちらの
QRコードから
アクセスできます



2025年度 法政大学高等学校同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業期	備 考
名 誉 会 長	植月 文隆		法政大学中学高等学校校長
会 長	高村 嘉昭	18	
副 会 長	岡本 眞司	18	総務委員長兼務
〃	大貫 光伸	32	広報委員長兼務
〃	吉岡 郁典	〃	財務委員長兼務
〃	萩原 光博	37	
総務 委員長	岡本 眞司	18	副会長
総務副委員長	佐伯 利昭	26	
財務 委員長	吉岡 郁典	32	副会長
財務副委員長	渡辺 康太	43	事業委員長兼務
広報 委員長	大貫 光伸	32	副会長
広報副委員長	佐藤 博之	33	
組織拡充 委員長	福地 達哉	〃	
組織拡充副委員長	中村 健一	〃	
〃	坪井 孝	36	
事業 委員長	渡辺 康太	43	財務副委員長兼務
会計監査	大野 祐司	33	
〃	金井 実	35	

同窓会事務局 野口 有紀・佐々木 千恵

同窓会会報紙「進取」デジタル化のお知らせ

会報紙の送料高騰により、同窓会活動費の逼迫が現実視されるため、今後発行数量を順次削減し、代替媒体としてホームページを活用する方向で検討しております。

下記のQRコードまたはURLからホームページにアクセスしていただくことで、過去の会報と共に閲覧が可能です。

会報紙(従来の紙)をご要望される方は、同封の返信用はがきの【会報紙「進取」の発送を希望します】に☑印を入れ、必要事項を記入して返信してください。

(今回は1983年度～2022年度卒業の同窓生が対象です。それ以外の方には2026年度も従来通り発送されます。昨年既にお申し出の方は返信不要です。)

ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

▶ ホームページはこちらからご覧になれます。
<https://www.hoseikd.jp>



削減計画

- ・2025年(進取50号) 削減数量 3,000～4,000部(2022年度卒～2003年度卒)
- ・2026年(進取51号) 削減数量 約3,000部(2002年度卒～1983年度卒)
- ・2027年(進取52号) 削減数量 約1,500部(1982年度卒～1973年度卒)
- ・2028年(進取53号) 削減終了
- ・卒業後2年間は、同窓会活動の周知として会報紙を送付いたします。
- ・会費納入者・各年度クラス委員・送付希望者へは、従来通り送付いたします。